

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣商業高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年6月7日(金) 14:00~16:00
- 3 開催場所 大垣商業高等学校 校長室
- 4 参加者

会長	栗山 利宏	大垣ミナモソフトボールクラブ専務理事
副会長	栗田 恵世	JP コーチ&コンサルティング(株) 代表取締役
委員	堀 和英	和合地区 連合自治会長
	日比野 幸江	和合地区 民生委員
	川瀬 智子	本校PTA 副会長
	馬場 舞	本校PTA 会計監査
	吉田 大介	岐阜協立大学 事務局長
	杉崎 康宏	大垣観光協会 副会長
	田中 禎一	大垣西ロータリークラブ 青少年育成委員長
	金森 律子	株式会社リリフル
学校側	増田 康宏	校長
	山田 理嗣	副校長
	小森 妙子	事務部長
	平松 均	教頭(欠席)
	立川 喜教	教頭
	瀧瀬 サオリ	教務主任(全日制)
	井村 仁美	教務主任(定時制)
	後藤 有喜	連携推進部長

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 学校経営計画、スクールポリシー、教育課程・学校の組織編成等に関する事項について
 - ・学校経営ビジョン、スクールポリシー、指導の重点及び学校経営計画
(教務部・生徒指導部・進路指導部・専門教育推進部マニフェスト)
 - ・教育課程、学校の組織編成
- (2) 地域と連携した教育活動に関する事項について

意見1

将来の人口減少が懸念される地域である。企業・大学・高校が連携し、地域を盛り上げることが重要である。地元企業に大垣商業の必要性を理解してもらい、大学としても企画の立ち上げを検討していきたい。

意見2

11月には地区センターまつり、12月には高齢者を囲む会への生徒参加・協力により大変盛り上がる。今後も大商とともに地域の盛り上がりを作っていくよう協力体制を整えていきたい。

意見3

一人暮らしの高齢者に年2回大商生が作成した作品を配付して、大変喜ばれている。防火クラブの活動にも協力してもらい、防災頭巾を作成した。ひもは廃材を活用したものであった。1つの取り組みが様々な取り組みを生み出している。

意見4

中学校では部活動の地域移行が進み、活動制限が強くなっている。中学と高校の部活動のギャップを感じるのではないか。

⇒部活動は本校の柱となっている。1年生は全員加入している。なぎなた部は地元中学校の地域移行に協力している。

意見5

商業高校は、かつては就職者が多いイメージであったが、現在は進学者が多く、多様な受験制度があることに驚いた。

意見6

定時制は勉強意欲が強く、部活動も積極的に取り組む生徒が多い。多くが地元の生徒である。ほとんどの生徒が卒業までに進路を決定していく。

意見7

全日制については進路の幅広い選択肢がある。定時制については、入学後の学校生活の充実度が高い。これらを地域に周知する方法を検討してほしい。

意見8

部活動見学を通し、職員の雰囲気や生徒の意欲的な活動の様子から、積極的に部活動が運営されていることが理解できた。

意見9

インターンシップの取組を知りたい。実践と理論がまじりあった学びの機会が増えている。就職者にとっても進学者にとっても地元企業について知ることは重要である。

意見10

簿記の学びがICTを活用しながら行われているなど、新しい姿を見学できた。一生懸命取り組んでいる姿から、昔からの強豪校であると感じた。

意見1 1

インターアクトの大会運営に、大商が企業とともに開発した商品を活用することができた。連携先はどのように決まっていくのか。

⇒運営協議会の委員からの紹介や職員の繋がり、あるいは連携を取り組む中での広がりなどから連携先を決定していく。

意見1 2

吹奏楽部は、地域の中で活躍している。

意見1 3

事務部は、教員との密な連携に心がけ、間接的な形になるが、生徒を支援していく。

意見1 4

答えのないことに取り組む探究活動をより積極的に取り組んでいきたい。今後も協力をお願いしたい。商業高校生は、外に出た後、地元に戻ってきてくれることが多い。高校時代から地域の課題を知ることは重要である。

意見1 5

本会を明るく活力のある運営協議会としていきたい。3回の協議会だけでなく、積極的に学校の教育活動に関わり、大商を愛し、支援していきたい。

意見1 6

地元ではバドミントンが盛んである。新しい部活動を作ることはできないか。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・本校の教育について、様々な立場から意見が得られた。今後の学校運営の参考とするとともに、地元企業・大学等と連携しながら、多様な学びを深める教育活動を推進していきたい。